



2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年4月11日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東
 コード番号 4343 URL <https://www.fantasy.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 徳也
 問合せ先責任者(役職名) 取締役兼常務執行役員 管理統括 兼リスクマネジメント担当 (氏名) 井関 義徳 (TEL) 043 (212) 6203
 定時株主総会開催予定日 2025年5月21日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2025年5月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期の連結業績(2024年3月1日~2025年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	87,240	6.7	4,344	21.2	3,440	△23.4	△1,816	—
2024年2月期	81,758	12.5	3,585	322.2	4,488	240.5	1,314	—
(注) 包括利益	2025年2月期 △1,518百万円(—%)		2024年2月期 586百万円(—%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年2月期	△91.87	—	△24.4	6.5	5.0
2024年2月期	66.50	66.46	16.2	9.0	4.4
(参考) 持分法投資損益	2025年2月期 一百万円	2024年2月期 一百万円			

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	53,673	6,842	12.3	332.51
2024年2月期	52,303	8,541	15.9	419.70
(参考) 自己資本	2025年2月期 6,576百万円	2024年2月期 8,297百万円		

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	12,353	△10,858	△2,841	6,141
2024年2月期	12,056	△10,725	△97	7,491

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00	197	15.0	2.4
2025年2月期	—	5.00	—	0.00	5.00	98	—	1.3
2026年2月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00		—	

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,200	5.7	7,300	68.0	5,700	65.7	2,500	—	126.42

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期	19,780,525株	2024年2月期	19,771,725株
② 期末自己株式数	2025年2月期	2,204株	2024年2月期	2,052株
③ 期中平均株式数	2025年2月期	19,775,053株	2024年2月期	19,768,057株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年2月期の個別業績 (2024年3月1日~2025年2月28日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	69,468	7.7	6,210	35.9	6,269	0.4	△1,891	—
2024年2月期	64,475	9.6	4,570	90.3	6,242	70.1	△368	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期	△95.66	—
2024年2月期	△18.63	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	39,528	5,112	5,112	5,112	12.9	257.05
2024年2月期	51,477	7,184	7,184	7,184	13.9	361.50

(参考) 自己資本 2025年2月期 5,083百万円 2024年2月期 7,146百万円

2. 2026年2月期の個別業績予想 (2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	5.1	6,100	△2.7	2,200	—	111.25

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年4月14日(月)に決算説明会を開催する予定です。

説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	6
2. 企業集団の状況	7
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	7
4. 連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	15
(重要な会計上の見積り)	17
(セグメント情報等)	17
(1株当たり情報)	20
(重要な後発事象)	20
5. 個別財務諸表	21
(1) 貸借対照表	21
(2) 損益計算書	23
(3) 株主資本等変動計算書	25

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、「こどもたちの夢を育み、“えがお”あふれる世界をつくる」というパーパスの実現に向け、新たなビジョンのもと新中期経営計画（2024年～2026年）を策定し、持続可能な社会への貢献と企業価値を高めるべく、事業活動を推進しております。

当連結会計年度（2024年3月1日～2025年2月28日）における当社及び連結子会社の連結業績は、売上高872億40百万円（前期比6.7%増）、営業利益43億44百万円（同21.2%増）、経常利益34億40百万円（同23.4%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は18億16百万円（前期親会社株主に帰属する当期純利益13億14百万円）となりました。各国為替レートが期首から円高に進んだ結果、営業外費用に為替差損4億57百万円（前期為替差益11億73百万円）を計上しております。また不採算店舗整理を加速させている中国事業の27億22百万円を含む、特別損失31億90百万円を計上しております。収益力実態を示す償却前営業利益は151億1百万円（前期差14億72百万円増）となりました。

国内事業は、従来から好調なプライズ部門・カプセルトイ部門に加え、時間消費型のメダル部門が順調に伸長したことによる既存店の好調及び、新業態・戦略的小型店などの新店が好調に推移した結果、当期は売上高・営業利益ともに過去最高を更新しております。アセアン事業は順調に新店の拡大が続く一方、中国事業は経済環境の低迷や競争環境の激化による売上回復の遅れが続いており、アミューズメントの不採算店舗を整理しつつ、競争力の高いプレイグラウンドへの変更を進めております。

当期は新業態を中心に195店舗を出店する一方、不採算店舗等134店舗（内、中国82店舗）を閉店いたしました。これらの結果、2025年2月末時点の店舗数は国内753店舗、海外475店舗の合計1,228店舗（直営店1,217店舗、F C 11店舗）となりました。

(国内事業)

国内事業における当期の業績は、売上高694億68百万円（前期比7.7%増）、営業利益62億10百万円（同35.9%増）で前期から16億39百万円増となり、ともに過去最高を更新いたしました。

既存店売上高前期比は106.0%と計画を大幅に上回り、特にプライズ部門が同110.4%と全体を大きく牽引しております。メダル部門では、投資の実行と販促活動を継続した結果、同103.4%と順調に売上及び会員数の拡大が続いており、荒利益率の向上に寄与しております。

アミューズメント事業の新業態では、新たなエリア（駅前・繁華街など）への出店や飲食併設の大型店舗「Feedy Diner&Arcade」を出店いたしました。プレイグラウンド事業の新業態では、「ちきゅうのにわ」を当初計画から上回る6店舗の出店をいたしました。いずれも計画を大幅に上回り好調に推移しております。従来から拡大を続けている戦略的小型店は、プライズ専門店19店舗、カプセルトイ専門店54店舗の合計73店舗の出店をいたしました。

当期は85店舗を出店する一方、35店舗を閉店し、2025年2月末時点の店舗数は753店舗となりました。

(アセアン事業)

アセアン事業における当期の業績は、売上高131億81百万円（前期比19.8%増）、営業利益11億90百万円（同12.4%減）となりました。売上高は過去最高を更新する一方で、今後の規模拡大を想定した本社人員の拡充や、フィリピンにおける前期のオンライン授業（当期は対面授業再開）の反動などにより営業利益は前年から減少する結果となりました。

主力のプレイグラウンド事業においては、主要業態の「kidzooona」の他に、「Kidzooona Safari」や「KID'S BOX JUMBO」などさまざまな商圈に対応した業態を開発し、各国において新たな地域への進出をいたしました。国別の出店数は成長率を重視しているインドネシア16店舗、ベトナム10店舗と拡大を続け、シェア拡大を重視しているマレーシア24店舗、フィリピン11店舗、生産性向上を進めるタイは売上総利益率の改善を進めるとともに、11店舗の出店をいたしました。

当期は、72店舗を出店する一方、17店舗を閉店し、2025年2月末時点の店舗数は332店舗（直営店327店舗、FC5店舗）となりました。

（中国事業）

中国事業における当期の業績は、売上高48億29百万円（前期比26.0%減）、営業損失30億52百万円（前期営業損失23億43百万円）となりました。経済活動の低迷や、商業施設内へ他業種からアミューズメントへの新規参入が激増したことにより競争が激化し、売上高の回復が遅れております。そのため、当初計画を大きく上回る82店舗の不採算店舗を整理いたしました。また既存店・本社販管費の経費削減を継続強化するとともに、アミューズメント区画を縮小し、プレイグラウンド区画の拡大をするなどの店舗活性化を20店舗実施いたしました。また、出店コストがかからず初月度から利益を出せる小型店「莫莉活力空間」を34店舗出店し、2025年2月末時点の店舗数は143店舗（直営標準・大型店96店舗、小型店41店舗、FC6店舗）となりました。

（社会貢献活動の状況）

当社は2022年4月にサステナビリティ方針を策定し、持続可能な社会への貢献と企業価値向上を実現する企業を目指し、サステナビリティ経営の実効性を高めていっております。

当社は「令和6年能登半島地震」復興支援に役立てていただけるよう、3月1日から3月31日の期間、対象の遊戯機械売上10%相当額を石川県に寄付いたしました。

また、未来の社会を作るともたちの権利を守るために、「あそんで募金」として1,000万円を世界7か国の子ども支援活動団体へ寄付を行いました。

子ども支援活動では、地域の社会福祉施設等への訪問や子どもたちのご招待会などを日本、中国、マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア、ベトナムで延べ7,547回実施しております。

そのほか、「公益財団法人イオンワンパーセントクラブ」を通じた活動として、「子どもたちの健全な育成」、「諸外国との友好親善」、「地域の発展への貢献」、「災害復興支援」への使途を目的とした寄付を行いました。

（次期の取組みと見通し）

（単位：百万円）

	2026年2月期 （業績予想）	2025年2月期 （当期実績）
売上高	92,200	87,240
営業利益	7,300	4,344
経常利益	5,700	3,440
親会社株主に帰属する当期純利益 又は当期純損失(△)	2,500	△1,816

当社グループを取巻く環境は、日本国内の少子化によるマーケット縮小、アセアン市場の成長、中国経済活動の低迷、更には原材料や人件費等のコスト増加、気候変動に対する時間消費価値の変化等、成長拡大に向けては、これらの対応が急務となっております。

当社グループは2024年度から「新中期経営計画」（2024年～2026年）を推進しており、同計画では、経営課題として「市場の変化に合わせた自らの変革」及び「自社の強みを生かした成長戦略の推進」を掲げ、こどもとその家族に向けた新たな提供価値を基盤とした事業及び業態開発を推進しております。

また「イオン生活圏」等を背景とした当社独自の強みを生かした成長戦略を推進し、セグメント別方針として国内事業では、企業成長を支える原資創出及び更なる市場領域の拡大を重視してまいります。アセアン事業では第2の成長ドライバーとなるべく新業態の開発とエリア開発をスピードと密度をもって進めます。中国事業では経済活動の低迷が長期間続く想定のもと、不採算店舗の閉店及び戦略の再構築を進めます。更にサステナビリティ方針及びマテリアリティにもとづく活動を継続し、持続可能な社会への貢献と企業価値向上の実現に向け邁進してまいります。

国内事業では、顧客の新たな期待価値に対応した業態開発を推進してまいります。プレイグラウンド事業では、2023年初出店以来、自然環境を学べる屋内施設として高い支持を頂いている「ちきゅうのにわ」及びそのローカライズ版である「ちきゅうのにわ“ぽっぷ”」を出店いたします。また様々な商圏や施設規模に柔軟に対応できる時間制遊戯施設「のびっこジャンボ」を初出店してまいります。

アミューズメント事業では、従来の「モーリーファンタジー」の出店に加え、Z世代対応の大型業態「Feedy Diner&Arcade」を出店してまいります。また、あそびの専門性に特化した業態である「カプセルトイ専門店」「プライズ専門店」についても、昨年に続き出店拡大してまいります。

そのほか、DXによる構造改革として、会員制度のデジタル化推進によるロイヤリティの拡大、イオングループとの会員IDの共通化等による集客拡大、本社及び売り場後方作業の効率化による人時生産性の拡大を図り、事業収益力向上を目指してまいります。

アセアン事業では、コロナ以降のあそびへのニーズや需要は、依然として高く、各国共に業績は拡大が継続しております。このような需要増加に対応し、主力業態である「キッズーナ」に加え、プレイグラウンドの新たな業態を開発し、地域所得と施設規模別に出店業態をパターン化することにより収益向上を図ります。また、商業施設の規模に応じた業態開発を推進し、ひとつの商業施設内に複数出店を図る事により事業収益性の密度と効率性を高めてまいります。エリア戦略としては、主要都市だけでなく、地方都市や小規模施設マーケットの地域にも積極的な出店を進めてまいります。国別には人口動態、経済成長、イオングループの出店戦略を踏まえ、経営資源の配分に優先順位と強弱をつけた成長戦略を推進してまいります。

中国事業では経済活動の低迷が長期化する中、スリムな経営体制の構築に向け不採算店舗の閉店の継続及び管理コストの圧縮を図ります。同時に既存事業の効率性を高めるため、アミューズメントからプレイグラウンドへ業態転換を進めるとともに、立地や店舗特性に合わせた活性化を推進いたします。更に高ROI・ローリスクの「莫莉活力空間」を積極的に拡大し、収益力の強化を進めてまいります。

2026年2月期におきましては、前述の新中期経営計画（2024年～2026年）の中間年度として各セグメントの重点戦略及び重点施策を推進し、顧客が求める価値のさらなる追求と新たなサービスの提供、既存業態が持つ価値の更なる進化を推進してまいります。

上記を踏まえ2026年2月期の通期連結業績予想は、売上高922億円、営業利益73億円、経常利益57億円、親会社株主に帰属する当期純利益25億円を見込んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、121億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億39百万円減少いたしました。主な内訳は、現金及び預金の減少（13億49百万円）、貯蔵品の増加（3億16百万円）、売上預け金の増加（1億55百万円）であります。

当連結会計年度末における固定資産の残高は、414億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億9百万円増加いたしました。主な内訳は、新店及び店舗活性化に伴う建物の増加（11億88百万円）及び遊戯機械の増加（11億42百万円）であります。

この結果、総資産は536億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億70百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、307億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ68億94百万円減少いたしました。主な内訳は、国内短期借入金の長期転換に伴う短期借入金の減少（120億95百万円）及び1年内返済予定の長期借入金の増加（24億77百万円）、設備関係支払手形の増加（15億65百万円）であります。

当連結会計年度末における固定負債の残高は160億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ99億63百万円増加いたしました。主な内訳は、国内短期借入金の長期転換に伴う長期借入金の増加(102億72百万円)であります。

この結果、負債合計は468億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億69百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、68億42百万円となり前連結会計年度末に比べ16億98百万円減少いたしました。主な内訳は、親会社株主に帰属する当期純損失の計上(18億16百万円)、剰余金の配当による減少(1億97百万円)であります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,056	12,353	296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,725	△10,858	△133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97	△2,841	△2,743
現金及び現金同等物に係る換算差額	198	△3	△202
現金及び現金同等物の増加額(△は減少)	1,432	△1,350	△2,783
現金及び現金同等物の期首残高	6,058	7,491	1,432
現金及び現金同等物の期末残高	7,491	6,141	△1,350

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は123億53百万円となりました。その主な内訳は、減価償却費107億56百万円及び減損損失26億12百万円の計上による資金の増加と、法人税等15億2百万円の支払による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は108億58百万円となりました。主に新規出店や既存店活性化投資に伴う有形固定資産98億25百万円の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は28億41百万円となりました。その主な内訳は、短期借入金の純減額121億52百万円、長期借入金33億71百万円及びリース債務27億52百万円の返済による資金の減少と、長期借入金162億5百万円の収入による資金の増加であります。

なお、キャッシュ・フロー関連指標の推移は下記のとおりであります。

	2024年2月期	2025年2月期
自己資本比率	15.9%	12.3%
時価ベースの自己資本比率	87.6%	102.5%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	270.9%	265.8%
インタレスト・カバレッジ・レシオ	20.4倍	15.7倍

(注) ① 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- ② キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用して計算しております。有利子負債は、連結貸借対照表上に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いは、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆さまへの安定的利益還元を経営の最重要目標のひとつとして位置づけており、内部留保の充実と財務体質の強化及び、業績、配当性向等を総合的に勘案して、長期的、安定的な利益還元を基本方針としております。内部留保資金につきましては、経営体質の一層の充実を図りつつ、国内及び海外の新規出店や既存店への設備投資等、事業展開の原資として役立ててまいります。

当期の期末配当金につきましては、2025年2月14日付で公表した「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、誠に遺憾ながら期末配当を無配とさせていただきます。これにより、中間配当5円と合わせた当期の年間配当金は1株当たり5円となります。

なお、次期の配当金につきましては、今後の業績見通しを勘案して、1株につき、年間15円（中間0円、期末15円）を予定しております。

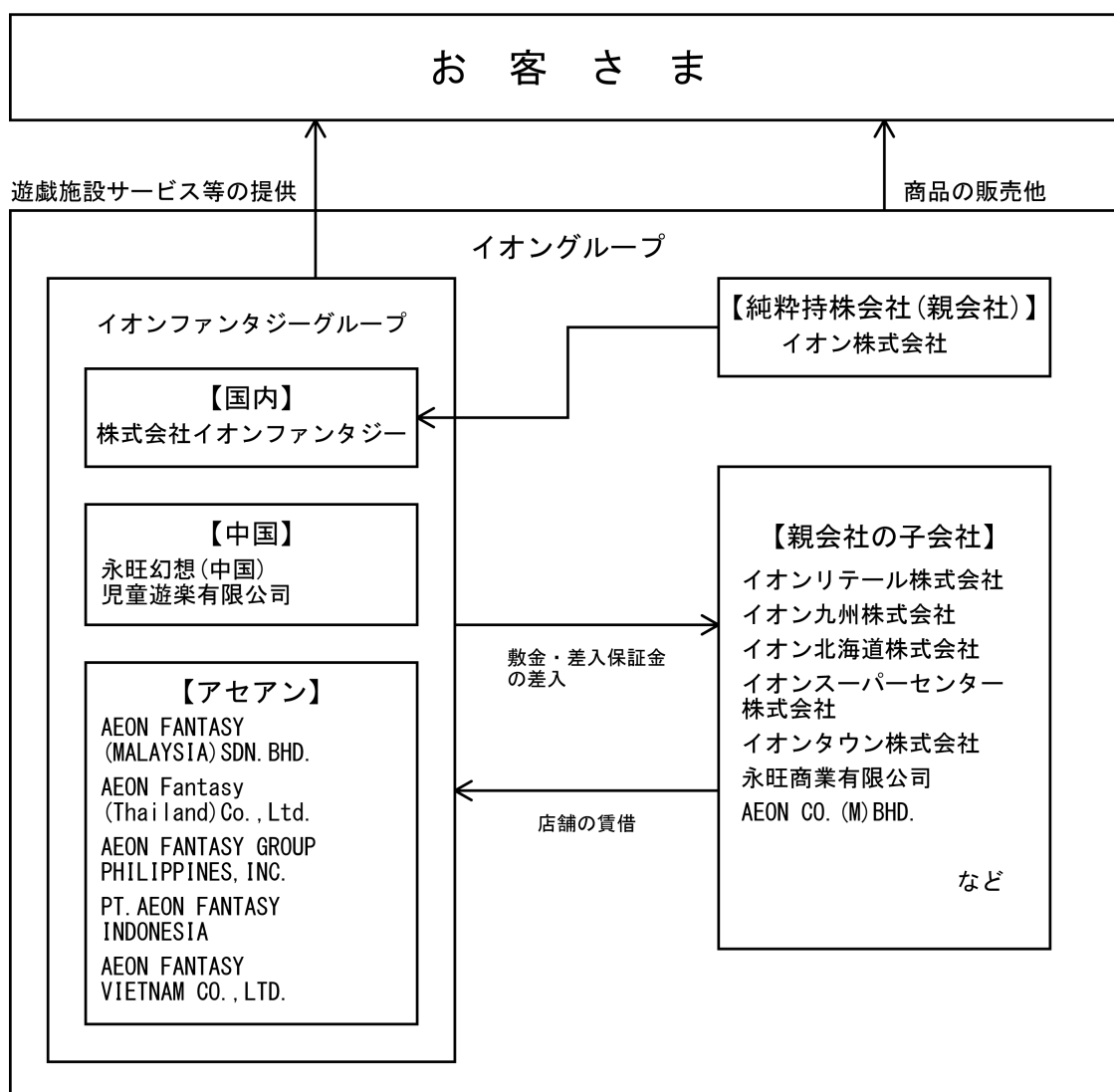
2. 企業集団の状況

当社の親会社は純粋持株会社イオン株式会社であります。GMS(総合スーパー)事業を核とした小売事業を中心として、総合金融、ディベロッパー、サービス・専門店等の各事業を複合的に展開しています。

このようなイオングループの事業の中で、当社グループはサービス事業に区分され、主としてファミリー向けアミューズメント施設及びプレイグラウンド施設等の運営を行っております。国内事業は当社1社で構成されており、当社はイオングループ及びその他のディベロッパーが運営するショッピングセンター内で遊戯施設の設置運営を行っております。

中国事業は1社、アセアン事業は6社(内純粋持株会社1社)で構成されており、中国、マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア、ベトナムにおいてイオングループ及びその他のディベロッパーが運営するショッピングセンター内で遊戯施設の設置運営を行っております。

以上述べました事項を事業系統図に示すと次のとおりであります。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,516,588	6,167,459
売掛金	136,357	198,707
売上預け金	959,411	1,114,485
商品	699,429	699,626
貯蔵品	1,717,005	2,033,555
その他	1,895,671	1,971,612
流動資産合計	12,924,463	12,185,447
固定資産		
有形固定資産		
建物	24,161,110	24,577,251
減価償却累計額	△18,289,605	△17,516,762
建物(純額)	5,871,504	7,060,488
遊戯機械	68,914,488	68,334,594
減価償却累計額	△51,223,705	△49,501,365
遊戯機械(純額)	17,690,783	18,833,228
使用権資産	15,829,991	15,546,103
減価償却累計額	△10,893,385	△10,746,456
使用権資産(純額)	4,936,605	4,799,646
工具、器具及び備品	8,648,551	8,681,952
減価償却累計額	△6,992,761	△6,651,855
工具、器具及び備品(純額)	1,655,790	2,030,096
その他	233,838	224,979
減価償却累計額	△90,924	△75,419
その他(純額)	142,913	149,559
有形固定資産合計	30,297,597	32,873,019
無形固定資産		
のれん	113,358	79,511
ソフトウェア	1,262,921	1,076,508
その他	4,585	4,229
無形固定資産合計	1,380,866	1,160,249
投資その他の資産		
投資有価証券	5,323	5,323
敷金及び差入保証金	4,938,411	4,886,681
繰延税金資産	2,252,465	1,721,627
退職給付に係る資産	109,937	352,391
その他(純額)	393,998	488,724
投資その他の資産合計	7,700,135	7,454,747
固定資産合計	39,378,598	41,488,016
資産合計	52,303,062	53,673,464

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,862,629	1,870,036
短期借入金	24,200,300	12,104,533
1年内返済予定の長期借入金	811,519	3,289,494
1年内返済予定の長期割賦未払金	573,008	579,770
リース債務	2,261,264	2,391,805
未払金	1,260,655	1,408,595
未払費用	1,955,502	1,893,678
未払法人税等	1,029,901	1,209,960
賞与引当金	516,702	465,160
役員業績報酬引当金	71,476	31,808
設備関係支払手形	1,512,723	3,077,850
閉店損失引当金	269,483	288,264
災害損失引当金	15,290	—
その他	1,312,263	2,147,332
流動負債合計	37,652,722	30,758,292
固定負債		
長期借入金	268,260	10,540,600
長期割賦未払金	1,068,136	488,365
リース債務	3,479,579	3,441,751
退職給付に係る負債	72,937	87,204
資産除去債務	1,068,056	1,389,094
その他	152,316	125,900
固定負債合計	6,109,287	16,072,917
負債合計	43,762,010	46,831,209
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,810,821	1,824,320
資本剰余金	4,829,464	4,815,842
利益剰余金	3,019,873	1,005,391
自己株式	△4,635	△5,001
株主資本合計	9,655,524	7,640,552
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,434,669	△1,279,349
退職給付に係る調整累計額	76,542	215,220
その他の包括利益累計額合計	△1,358,126	△1,064,129
新株予約権	37,947	28,970
非支配株主持分	205,707	236,861
純資産合計	8,541,051	6,842,255
負債純資産合計	52,303,062	53,673,464

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高	81,758,939	87,240,584
売上原価	71,504,110	75,572,155
売上総利益	10,254,829	11,668,428
販売費及び一般管理費	6,669,293	7,323,567
営業利益	3,585,535	4,344,860
営業外収益		
受取利息	75,600	88,978
為替差益	1,173,768	—
受取保険金	39,640	65,962
固定資産売却益	18,649	4,271
預り金受入益	3,943	13,097
リース解約益	72,609	349,109
増値税還付金	64,437	—
その他	146,418	119,096
営業外収益合計	1,595,068	640,516
営業外費用		
支払利息	596,426	767,149
為替差損	—	457,036
固定資産売却損	12,708	13,563
資金調達費用	—	194,280
その他	82,961	113,106
営業外費用合計	692,096	1,545,136
経常利益	4,488,507	3,440,240
特別利益		
減損損失戻入益	111,808	20,916
閉店損失引当金戻入額	87,014	63,716
特別利益合計	198,823	84,632
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	236,367	291,700
減損損失	1,078,304	2,612,930
店舗閉鎖損失	64,477	285,722
災害による損失	2,906	—
災害損失引当金繰入額	15,290	—
特別損失合計	1,397,345	3,190,353
税金等調整前当期純利益	3,289,985	334,519
法人税、住民税及び事業税	1,044,192	1,686,706
法人税等調整額	897,816	452,651
法人税等合計	1,942,008	2,139,358
当期純利益又は当期純損失(△)	1,347,977	△1,804,839
非支配株主に帰属する当期純利益	33,315	11,914
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	1,314,661	△1,816,753

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	1,347,977	△1,804,839
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△855,065	147,438
退職給付に係る調整額	93,747	138,678
その他の包括利益合計	△761,318	286,116
包括利益	586,658	△1,518,722
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	542,002	△1,522,755
非支配株主に係る包括利益	44,656	4,033

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,806,987	4,825,630	1,902,889	△4,176	8,531,331
当期変動額					
剰余金の配当			△197,677		△197,677
親会社株主に帰属する当期純利益			1,314,661		1,314,661
新株の発行	3,834	3,834			7,668
自己株式の取得				△459	△459
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	3,834	3,834	1,116,983	△459	1,124,192
当期末残高	1,810,821	4,829,464	3,019,873	△4,635	9,655,524

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△568,301	△17,204	△585,506	31,437	161,089	8,138,352
当期変動額						
剰余金の配当						△197,677
親会社株主に帰属する当期純利益						1,314,661
新株の発行						7,668
自己株式の取得						△459
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△866,367	93,747	△772,620	6,509	44,617	△721,493
当期変動額合計	△866,367	93,747	△772,620	6,509	44,617	402,699
当期末残高	△1,434,669	76,542	△1,358,126	37,947	205,707	8,541,051

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,810,821	4,829,464	3,019,873	△4,635	9,655,524
当期変動額					
剰余金の配当			△197,728		△197,728
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,816,753		△1,816,753
新株の発行	13,498	13,498			26,997
自己株式の取得				△365	△365
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△27,121			△27,121
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	13,498	△13,622	△2,014,481	△365	△2,014,971
当期末残高	1,824,320	4,815,842	1,005,391	△5,001	7,640,552

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△1,434,669	76,542	△1,358,126	37,947	205,707	8,541,051
当期変動額						
剰余金の配当						△197,728
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△1,816,753
新株の発行						26,997
自己株式の取得						△365
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△27,121
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	155,319	138,678	293,997	△8,977	31,154	316,175
当期変動額合計	155,319	138,678	293,997	△8,977	31,154	△1,698,796
当期末残高	△1,279,349	215,220	△1,064,129	28,970	236,861	6,842,255

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,289,985	334,519
減価償却費	10,043,067	10,756,289
固定資産除売却損益 (△は益)	38,039	87,557
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,707	△52,447
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△46,481	△39,418
受取利息	△75,600	△88,978
支払利息	596,426	767,149
為替差損益 (△は益)	△1,173,768	457,036
受取保険金	△39,640	△65,962
リース解約益	△72,609	△349,109
減損損失戻入益	△111,808	△20,916
減損損失	1,078,304	2,612,930
災害による損失	2,906	—
売上債権の増減額 (△は増加)	112,813	△62,565
売上預け金の増減額 (△は増加)	△223,572	△153,421
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△214,753	△316,309
仕入債務の増減額 (△は減少)	420,429	665
その他	△330,299	739,317
小計	13,301,146	14,606,336
利息の受取額	38,331	34,683
利息の支払額	△591,307	△785,001
法人税等の支払額	△691,468	△1,502,917
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,056,700	12,353,100
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,590,592	△9,825,205
有形固定資産の売却による収入	47,391	41,810
無形固定資産の取得による支出	△573,345	△395,218
長期前払費用の増加による支出	△205,384	△228,154
敷金及び保証金の差入による支出	△567,899	△640,496
敷金及び保証金の回収による収入	263,756	439,858
その他	△99,045	△250,851
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,725,119	△10,858,257
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,559,200	△12,152,303
長期借入れによる収入	—	16,205,919
長期借入金の返済による支出	△1,337,829	△3,371,577
配当金の支払額	△197,677	△197,728
リース債務の返済による支出	△2,554,271	△2,752,159
割賦債務の返済による支出	△566,324	△573,008
その他	△459	△365
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,363	△2,841,223
現金及び現金同等物に係る換算差額	198,654	△3,949
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,432,872	△1,350,329
現金及び現金同等物の期首残高	6,058,627	7,491,499
現金及び現金同等物の期末残高	7,491,499	6,141,169

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結の対象としております。

連結子会社の数 7社

連結子会社の名称 永旺幻想(中国)児童遊楽有限公司

AEON FANTASY (MALAYSIA) SDN. BHD.

AEON Fantasy (Thailand) Co., Ltd.

AEON Fantasy Holdings (Thailand) Co., Ltd.

AEON FANTASY GROUP PHILIPPINES, INC.

PT. AEON FANTASY INDONESIA

AEON FANTASY VIETNAM CO., LTD.

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち永旺幻想(中国)児童遊楽有限公司及びAEON FANTASY VIETNAM CO., LTD. の決算日は、12月31日であります。連結決算日現在で本決算に準じた仮決算を行った財務諸表を基礎としております。

他の連結子会社の決算日は連結決算日と一致しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券

市場価格のない株式等 移動平均法による原価法

② 棚卸資産

商 品 移動平均法による原価法

(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

貯蔵品 最終仕入原価法

(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)

定額法

各資産別の耐用年数として下記の年数を採用しております。

建物 3～20年

遊戯機械 2～9年

工具、器具及び備品 2～8年

② 無形固定資産(リース資産を除く)

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年～10年)に基づく定額法を採用しております。

③ 使用権資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権等の貸倒れによる損失に備え、貸倒懸念債権等特定の債権について個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

社員及びパートナース社員(パートタイマー)に支給する賞与に備え、支給見込額のうち当連結会計年度に負担する金額を計上しております。

③ 役員業績報酬引当金

役員に対する業績報酬の支給に備えるため、支給見込額のうち、当連結会計年度に負担する金額を計上しております。

④ 閉店損失引当金

店舗の閉店に伴い発生する損失に備え、店舗閉店により合理的に見込まれる中途解約違約金等の閉店関連損失見込額を計上しております。

⑤ 災害損失引当金

災害により被災した資産の復旧等に要する支払に備えるため、今後発生すると見込まれる金額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

当社グループは日本、中国、アセアンにおいて、ファミリー向けアミューズメント施設及びプレイグラウンド施設等の運営を主な事業として展開しております。当該施設の運営における収入は、主に顧客が当該施設を利用した時点で履行義務を充足したと判断し、一時点で収益を認識しております。

(5) 退職給付に係る会計処理の方法

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定に当たり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用については、発生年度において一括費用処理しております。

数理計算上の差異については、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理しております。

③ 小規模企業等における簡便法の採用

一部の連結子会社については簡便法を用いております。

(6) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社の資産及び負債は、在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部に於ける為替換算調整勘定及び非支配株主持分に含めて計上しております。

(7) のれんの償却方法及び償却期間

効果の発現する期間等(10年間)の定額法により償却を行っております。

(8) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金及び随時引出可能な預金からなっております。

(重要な会計上の見積り)

会計上の見積りにより当連結会計年度に係る連結財務諸表にその額を計上した項目であって、翌連結会計年度に係る連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりです。

1. 固定資産の減損

(1) 当連結会計年度に係る連結財務諸表に計上した金額

	(千円)	
	前連結会計年度	当連結会計年度
有形固定資産	30,297,597	32,873,019
無形固定資産	1,380,866	1,160,249
減損損失	1,078,304	2,612,930

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りに関する情報

当社グループにおける固定資産の減損の検討にあたっては、減損損失の認識及び使用価値の算定において、将来キャッシュ・フローの見積りを行っております。当該見積りは、経営者により承認された翌期予算の数値を基礎とし、現在の使用状況及び合理的な使用計画を考慮することとしております。当該数値は、経営者の判断を伴う主要な仮定として、各店舗の売上高及び売上総利益率の予測、各店舗の人件費及び経費の予測等を織り込んでおります。

なお、中国の店舗においては、翌期もショッピングセンター内での競争環境激化が継続すると見込んでおります。一方で当期に実施した店舗活性化効果を踏まえ、翌期に予定しているプレイグラウンド等の活性化効果を見積り、売上高の予測に反映させております。また、不採算店舗の閉鎖による店舗数の減少に伴い、本社コストの低減を経費の予測に反映させております。

これらの主要な見積り及び仮定は、事業戦略の変更や経済的な外部環境の変化等の影響を受ける可能性があり、将来キャッシュ・フローの見積りの見直しが必要となった場合、翌連結会計年度の連結財務諸表において追加の減損損失が発生する可能性があります。

2. 繰延税金資産の回収可能性

(1) 当連結会計年度に係る連結財務諸表に計上した金額

	(千円)	
	前連結会計年度	当連結会計年度
繰延税金資産	2,252,465	1,721,627

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りに関する情報

当社における繰延税金資産の計上にあたっては、将来の税負担額を軽減する効果を有するかどうかで回収可能性を判断しており、この判断の過程において、将来の一時差異等加減算前課税所得の見積り、一時差異の解消時期の見積り等の一定の見積りを行っております。これらの見積りについては、経営者により承認された翌期予算の数値を基礎とし、過去の実績、将来の経営環境等を考慮して算定しております。

これらの主要な見積り及び仮定は、事業戦略の変更や経済的な外部環境の変化等の影響を受ける可能性があり、繰延税金資産の一部又は全部の回収ができないと判断した場合は、翌連結会計年度の連結財務諸表において繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ファミリー向けアミューズメント施設及びプレイグラウンド施設等の運営を主な事業としており、「国内」、「アセアン」及び「中国」の3つを報告セグメントとしております。

「国内」は当社が事業を営んでおり、「アセアン」は、AEON FANTASY (MALAYSIA) SDN. BHD. がマレーシアにおいて、AEON Fantasy(Thailand)Co.,Ltd. がタイにおいて、AEON FANTASY GROUP PHILIPPINES, INC. がフィリピンにおいて、PT. AEON FANTASY INDONESIAがインドネシアにおいて、AEON FANTASY VIETNAM CO.,LTD. がベトナムにおいて、「中国」は、永旺幻想(中国)児童遊楽有限公司がファミリー向けアミューズメント施設及びプレイグラウンド施設等の運営事業をそれぞれ営んでおります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	国内	アセアン	中国	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	64,225,075	11,006,512	6,527,351	81,758,939	—	81,758,939
セグメント間の内部売上高	250,882	—	—	250,882	△250,882	—
計	64,475,957	11,006,512	6,527,351	82,009,822	△250,882	81,758,939
セグメント利益又は損失(△)	4,570,694	1,358,594	△2,343,012	3,586,276	△740	3,585,535
セグメント資産	32,606,399	13,937,078	6,590,963	53,134,442	△831,379	52,303,062
その他の項目						
減価償却費	5,325,889	2,601,124	2,085,411	10,012,425	—	10,012,425
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	7,800,105	3,323,364	645,994	11,769,464	—	11,769,464

(注) 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	国内	アセアン	中国	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	69,230,158	13,181,280	4,829,145	87,240,584	—	87,240,584
セグメント間の内部売上高	238,630	—	—	238,630	△238,630	—
計	69,468,789	13,181,280	4,829,145	87,479,214	△238,630	87,240,584
セグメント利益又は損失(△)	6,210,631	1,190,015	△3,052,128	4,348,518	△3,657	4,344,860
セグメント資産	35,757,509	15,520,949	2,714,805	53,993,264	△319,799	53,673,464
その他の項目						
減価償却費	5,737,037	3,394,036	1,594,062	10,725,137	—	10,725,137
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	8,526,645	4,988,147	792,857	14,307,650	—	14,307,650

(注) 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	マレーシア	中国	その他	合計
64,225,075	4,466,043	6,527,351	6,540,468	81,758,939

(注) 売上高は店舗の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	マレーシア	中国	その他	合計
18,055,251	2,840,354	3,669,260	5,732,730	30,297,597

(注) 「その他」に属する国は、タイ、フィリピン、インドネシア、ベトナムであります。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	マレーシア	中国	その他	合計
69,230,158	5,347,232	4,829,145	7,834,047	87,240,584

(注) 売上高は店舗の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	マレーシア	中国	その他	合計
20,581,463	3,902,400	1,049,220	7,339,935	32,873,019

(注) 「その他」に属する国は、タイ、フィリピン、インドネシア、ベトナムであります。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：千円)

	国内	アセアン	中国	計	調整額	合計
減損損失	132,732	117,158	828,413	1,078,304	—	1,078,304

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	国内	アセアン	中国	計	調整額	合計
減損損失	267,466	114,870	2,230,593	2,612,930	—	2,612,930

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	国内	アセアン	中国	計	調整額	合計
当期償却額	—	30,641	—	30,641	—	30,641
当期末残高	—	113,358	—	113,358	—	113,358

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位:千円)

	国内	アセアン	中国	計	調整額	合計
当期償却額	—	31,152	—	31,152	—	31,152
当期末残高	—	79,511	—	79,511	—	79,511

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり純資産	419.70円	332.51円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	66.50円	△91.87円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	66.46円	—円

(注)1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	1,314,661	△1,816,753
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	1,314,661	△1,816,753
期中平均株式数(株)	19,768,057	19,775,053
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	13,735	—
(うち新株予約権(株))	(13,735)	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,762,580	4,343,907
売掛金	136,440	210,880
売上預け金	929,486	1,088,271
商品	278,085	371,034
貯蔵品	1,413,958	1,557,090
関係会社短期貸付金	14,242,400	2,165,000
その他	2,305,139	1,732,010
流動資産合計	23,068,091	11,468,195
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,209,338	2,831,520
遊戯機械	14,650,251	16,091,991
工具、器具及び備品	1,059,929	1,518,506
その他	135,732	139,445
有形固定資産合計	18,055,251	20,581,463
無形固定資産		
ソフトウェア	975,677	942,017
その他	3,440	2,875
無形固定資産合計	979,117	944,892
投資その他の資産		
投資有価証券	5,323	5,323
関係会社株式	811,967	1,020,312
関係会社出資金	0	0
繰延税金資産	1,789,870	1,560,734
敷金及び差入保証金	3,491,527	3,673,014
関係会社長期貸付金	3,319,750	393,269
前払年金費用	14,746	58,190
その他	176,971	136,337
投資等損失引当金	△235,181	△313,062
投資その他の資産合計	9,374,975	6,534,120
固定資産合計	28,409,344	28,060,476
資産合計	51,477,436	39,528,672

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,651,736	1,676,001
短期借入金	22,800,000	10,300,000
1年内返済予定の長期借入金	—	2,600,400
1年内返済予定の長期割賦未払金	573,008	579,770
未払法人税等	1,000,839	1,176,008
賞与引当金	292,644	325,184
役員業績報酬引当金	71,476	31,808
設備関係支払手形	1,512,723	3,077,850
閉店損失引当金	26,063	8,341
災害損失引当金	15,290	—
その他	2,376,567	3,392,820
流動負債合計	30,320,351	23,168,184
固定負債		
長期借入金	—	8,066,100
長期割賦未払金	1,068,136	488,365
関係会社事業損失引当金	12,283,025	1,933,887
資産除去債務	563,391	685,497
その他	57,923	73,698
固定負債合計	13,972,476	11,247,549
負債合計	44,292,827	34,415,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,810,821	1,824,320
資本剰余金		
資本準備金	4,796,769	4,810,268
その他資本剰余金	32,695	32,695
資本剰余金合計	4,829,464	4,842,963
利益剰余金		
利益準備金	212,500	212,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	298,510	△1,790,813
利益剰余金合計	511,010	△1,578,313
自己株式	△4,635	△5,001
株主資本合計	7,146,660	5,083,968
新株予約権	37,947	28,970
純資産合計	7,184,608	5,112,938
負債純資産合計	51,477,436	39,528,672

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高		
遊戯施設売上高	64,098,240	69,088,480
その他の売上高	377,717	380,308
売上高合計	64,475,957	69,468,789
売上原価		
遊戯施設売上原価	55,506,756	58,474,233
その他売上原価	686	412
売上原価合計	55,507,442	58,474,646
売上総利益	8,968,515	10,994,142
販売費及び一般管理費	4,397,820	4,783,511
営業利益	4,570,694	6,210,631
営業外収益		
受取利息	738,284	706,156
為替差益	964,679	—
受取保険金	36,954	41,238
固定資産売却益	18,060	3,909
その他	124,690	75,508
営業外収益合計	1,882,670	826,812
営業外費用		
支払利息	196,950	277,109
為替差損	—	284,813
固定資産売却損	6,989	8,890
資金調達費用	—	194,280
その他	6,820	3,267
営業外費用合計	210,759	768,362
経常利益	6,242,605	6,269,081
特別利益		
関係会社事業損失引当金戻入額	169,784	—
閉店損失引当金戻入額	1,335	6,355
特別利益合計	171,119	6,355
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	26,063	8,341
減損損失	132,732	267,466
店舗閉鎖損失	13,611	50,035
関係会社貸倒引当金繰入額	—	3,944,704
投資等損失引当金繰入額	15,646	77,881
関係会社事業損失引当金繰入額	4,657,991	2,025,937
災害による損失	2,906	—
災害損失引当金繰入額	15,290	—
特別損失合計	4,864,243	6,374,366
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	1,549,481	△98,929
法人税、住民税及び事業税	1,044,584	1,563,529
法人税等調整額	873,150	229,136
法人税等合計	1,917,734	1,792,665
当期純損失(△)	△368,253	△1,891,595

遊戯施設売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)			当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)		
		金額(千円)		構成比 (%)	金額(千円)		構成比 (%)
I 景品費			9,051,575	16.3		10,062,976	17.2
II 遊戯機械賃借料			1,868,531	3.4		1,759,821	3.0
III 商品原価			7,540,972	13.6		7,646,624	13.1
IV 労務費			11,888,077	21.4		12,838,152	22.0
V 経費							
1. 家賃及び共益費		13,318,700			14,223,372		
2. 減価償却費		4,982,126			5,431,874		
3. その他		6,856,771	25,157,598	45.3	6,511,412	26,166,659	44.8
遊戯施設売上原価計			55,506,756	100.0		58,474,233	100.0

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金	
					繰越利益 剰余金	その他利益 剰余金合計	
当期首残高	1,806,987	4,792,935	32,695	4,825,630	212,500	864,441	864,441
当期変動額							
剰余金の配当						△197,677	△197,677
当期純損失(△)						△368,253	△368,253
新株の発行	3,834	3,834		3,834			
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	3,834	3,834	—	3,834	—	△565,930	△565,930
当期末残高	1,810,821	4,796,769	32,695	4,829,464	212,500	298,510	298,510

	株主資本			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
	利益剰余金 合計				
当期首残高	1,076,941	△4,176	7,705,383	31,437	7,736,820
当期変動額					
剰余金の配当	△197,677		△197,677		△197,677
当期純損失(△)	△368,253		△368,253		△368,253
新株の発行			7,668		7,668
自己株式の取得		△459	△459		△459
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)				6,509	6,509
当期変動額合計	△565,930	△459	△558,722	6,509	△552,212
当期末残高	511,010	△4,635	7,146,660	37,947	7,184,608

当事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金	
					繰越利益 剰余金	その他利益 剰余金合計	
当期首残高	1,810,821	4,796,769	32,695	4,829,464	212,500	298,510	298,510
当期変動額							
剰余金の配当						△197,728	△197,728
当期純損失(△)						△1,891,595	△1,891,595
新株の発行	13,498	13,498		13,498			
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)							
当期変動額合計	13,498	13,498	—	13,498	—	△2,089,323	△2,089,323
当期末残高	1,824,320	4,810,268	32,695	4,842,963	212,500	△1,790,813	△1,790,813

	株主資本			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
	利益剰余金 合計				
当期首残高	511,010	△4,635	7,146,660	37,947	7,184,608
当期変動額					
剰余金の配当	△197,728		△197,728		△197,728
当期純損失(△)	△1,891,595		△1,891,595		△1,891,595
新株の発行			26,997		26,997
自己株式の取得		△365	△365		△365
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)				△8,977	△8,977
当期変動額合計	△2,089,323	△365	△2,062,692	△8,977	△2,071,669
当期末残高	△1,578,313	△5,001	5,083,968	28,970	5,112,938